ポム・ド・パン

2014 Sep vol. 15

●障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
●グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL・FAX 087(888)2557

●発　行／社会福祉法人ポム・ド・パン
●発行日／2014年9月30日

通谷西自治会の皆様とともに 芋さしに参加

6月24日(火)に三谷町通谷西自治会の皆様と休耕田を使ってさつま芋の植え付けをしました。

当日は朝から晴れて少し汗が出るくらいの農作業にはぴったりの天気でした。

利用者5名・職員3名で参加しました。利用者はウインドヒルの畑で毎年植え付けしていますが、今回は畑の畝にシートが張られていたのでショベルで穴を掘る事が出来ず、あらかじめ用意していた竹の棒を畝に斜めに突き刺して芋のつるをその穴に入れる作業に取り組みました。

最初はなかなか竹を斜めに突き刺す事が出来なかったので、職員が見本を示して利用者と一緒に竹を持ち畝に竹の棒を刺していくうち利用者一人でもできるようになり、その開いた穴に芋のつるを差し込んでいきました。一時間ぐらいの畑作業でしたが利用者・職員ともいい汗をかきました。

畑作業終了後、通谷西自治会の皆様から冷たいお茶の接待があり、自治会の皆様と一緒にありがたくいただきました。

その後、通谷西自治会の皆様と地区の現状等の話を聞き、今後自治会の皆様とのふれあい活動の場を広げ、地域とのコミュニケーションを更に図っていきたいと思いました。

秋には通谷西自治会の皆様と一緒に芋を掘る予定です。大収穫を利用者と一緒に祈って施設へ帰りました。

9月19日には通谷西自治会の皆様との遠足に行きました。

先日、ＮＨＫの放送で、【重度の自閉症である東田直樹さん】の番組が放映されました。

会話のできない本人が、母親手づくりの文字盤を使い、人差し指で操作してその文字を打つと、その後すぐに言葉が続いて出てくるという。他人と会話することができるという彼の声を通して、表出することが困難な自閉症者のこころが身近になりそうです。

彼が出版した本を一度読んでみませんか?

『自閉症の僕が飛び跳ねる理由』
『続・自閉症の僕が飛び跳ねる理由』
『絵本　自閉というぼくの世界』
『この地球の住んでいる僕の仲間たちへ』等

ぼくは みんなが あたりまえにやっていることが
どうして 自分に出来ないのか
出来ない理由もわからず
先生からも みんなからも しかられ
いみもなく 動きまわる日々が つづきました。
つかれはて かなしくても
ぼくは わらって おかしなことをさけび
何かを見ては とりつかれたように
きまった動作を くり返していました。

ぼくは 一人でいたかったわけでは ありません。
そうしなければ 自分が 何をしでかすか
人から どう思われるのか
こわくて こわくて どうしようもなかったのです

『絵本 自閉という ぼくの世界』
(エスコアール社)より抜粋

管理者　　松原　正子

卓球教室

平成 21 年 3 月 16 日から続けている卓球教室の様子です。毎週コツコツと続けていくことの大切さを感じています。
毎週月曜日の午前中の時間を使って 4 つのグループに分かれて活動しています。

A グループ 試合で勝てるように特訓中!!

ボランティア　香西由紀恵

1年半前はラリーができる利用者は限られていましたが今はほとんどの利用者がラリーが打てるようになりました。フォアーとバックの区別もついており、フォアー側、バック側と指示するとラケットの面をかえて打てるようになりました。現在、スマッシュの練習中で私の動きを見て同じように動こうとしています。

B グループ 正確に相手コートに打ち返せるように!!

支援員 白井

卓球マシーンを使ってピン球をラケットでドンドン打ち返す練習をしています。
ピン球を見て打ち返す事ができる利用者、職員の手添えでやっと打てる利用者など様々ですが、みんな体を動かす楽しさを味わっています。
始めたころよりもピン球に対する反応も良くなり、職員共々充実した時間を過ごしています。

C グループ 飛んで来たピン球に対応する力・体幹を鍛える。

支援員 﨑本

Cグループでは「飛んできたピン球をよく見て手でキャッチする」「ラケットにピン球を当てる」という練習を行っています。
又、8月より「卓球バレー」を取り入れました。卓球バレーとは1チーム6人ずつが椅子に座って板状ラケットでピン球を打って転がし、相手コートへ3打以内で返すというゲームです。
6人制バレーボールのルールを元に考案されました。ピン球キャッチでの個人練習と卓球バレーでのチームゲームを組み合わせて活動しています。

D グループ ボール・ピン球の跳ね方に慣れること。

支援員 安倍

Dグループでは“見る”事に重点を置いて活動しています。空中からゆっくり落ちて来る風船をキャッチする課題をクリアし、今はフラフープの小さな輪の中にボールを投げ込むという目で見て距離、範囲が測れるようになるための活動を行っています。
ボールを投げる人、フラフープを持つ人、利用者が互いに協力し合って取り組んでいます。

卓球教室を始めた頃は、ピン球が自分の目の前に飛んできても全く反応すらしなかった人が次第に目で追うようになり、手を出してキャッチし、ラケットを手に持ち、ピン球をラケットに当て、打ち返す事が出来るようになりました。
スモールステップですが、確実に上達しています。
継続は力なりです。

ピン球は普通のボールと違って、跳ね方がさまざまです。飛んできたピン球に反応する力、また、卓球を通してコミュニケーションをとる力を育んでいます。

社会参加

三谷保育所 夏まつりに参加

7月14日（土）地元の三谷保育所の夏まつりにウインドヒルのブースを出展させていただきました。ウインドヒルの畑で収穫した「無農薬野菜」や利用者と一緒に作った「おからスコーン」「シナモンパイ」を販売させていただきました。ありがとうございました。

花園コミュニティーセンター

センター長 小川さん

ウインドヒルの皆様方ごきげんよう。

「わ!今日はウインドヒルの野菜がきとる」講座や同好会に参加のおばちゃんたちの弾んだ声。急いで張り紙をする。「おひとり一つで!」格安、新鮮、無農薬、こんな野菜今時どこにもない。今や地域住民の太鼓判となりつつある。

私たち職員も自慢の一つができてうれしいです。今後も住民サービスの事業として大切にしていきたいです。

ウインドヒルの皆さん今後ともよろしくお願いします。

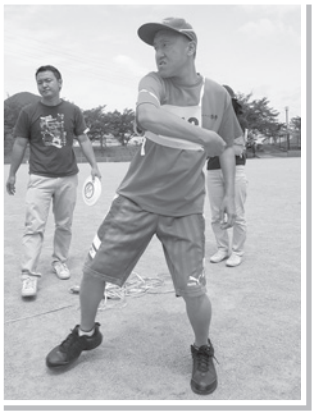
さあ次は何がくるか楽しみです。

フライングディスク大会

フライングディスク大会結果報告

6月23日（金）、香川県知的障害者福祉協会主催のフライングディスク大会が行われ、飛距離を競うディスタンス競技と輪に通した回数を競うアキュラシー競技の2種目に7名の利用者が参加しました。

ディスタンス競技では惜しくも入賞は逃しましたが松原氏が22mを投げ6位と健闘、アキュラシー競技では白川、鎌田両氏が予選を勝ち抜き決勝トーナメントに進出。白川氏は決勝まで勝ち上がり見事2位に輝きました。



研修報告 ●施設交流情報交換会に参加して〈福祉協会 障害者支援部会での研修会〉

今回初めて施設交流情報交換会として、みくに園を見学させて頂きました。豊島の自然があふれた環境の中、レモンを使った食品を中心にいくつかの作業班に分かれ、利用者が笑顔で取り組んでいる姿はとても印象的でした。

施設内には70歳以上の高齢者がいる為、食事や健康面を考えての対応、利用者が音楽に触れることで成長につながった音楽療法等、様々なことを勉強させて頂きました。今回得たいろんな情報や感じたことを大切に今後の支援に活用していきたいと思います。

支援員 安田

AED講習会 救命講習（ＡＥＤを使用して）の実施

高松市消防局消防防災課より応急手当指導員の方をお招きして救命講習を実施しました。全職員参加できるように８／６、８／７、８／12の３回に分けてＡＥＤの使い方、心肺蘇生法（胸骨圧迫・人工呼吸）を実技を通して学びました。昨年度受講していた方でも実技は思った以上に緊張した様子でした。定期的に救命講習を実施することで救命意識を高め技術的にも確実なものになればと思います。

看護師 金川

ボランティアコメント

「障がい者支援施設ウインドヒル」での体験と感想

この度、香川県で唯一の自閉症専門の施設であるウインドヒルで、自閉症のことについて学びたく、ボランティアをさせていただきました。従来から、私がイメージしていた障がい者施設とはかなり違い、とても閑静な場所にある、落ち着いた雰囲気の施設であったので意外に思いました。また、施設内は十分に掃除や整理整頓が行き届き快適で、環境衛生にも配慮された施設だと感じました。

はじめに、松原施設長様から、自閉症に関する説明と、ボランティア活動上留意事項やアドバイスなどをいただきました。当初一人ひとりの自閉症の方に対し、具体的にどのようなボランティア活動ができるのかかなり不安に思いました。私自身が従来から自閉症の方は、強いこだわりがあり、問題行動が多く、意思疎通が難しいという固定観念がありました。そのような不安を、見事にかき消してくれたのは、施設利用者の方たちの自然な対応、言動でした。私自分が身構え、緊張していたことを彼等が自然な対応や言動を通して気づかせてくれました。同時に松原施設長様からの、「自閉症者（障がい者）に対し、マイナスイメージの先入観をもって捉えないで、自閉症でない人と同様に普通に接してほしい。」とアドバイスをいただいた意味を、彼らを通して理解することができました。

実際に、利用者の方に接してみると、私がイメージしていた様な困難は感じられず、問題なくアイコンタクトで意思疎通ができ、会話が成り立ちにくい方も、これによって会話の主旨や内容が理解されていたように感じられました。一方、声のかけかたや、接するタイミングについても、利用者の方とコミュニケーションを図るうえで、大変重要なことであることが職員の方が利用者に接する実態を目の辺りにした時に実感することができました。

施設内活動として、作業棟では、ピンセットの袋詰め作業が行われており、この作業も利用者個々のレベルに応じて取り組まれていました。作業工程としては、ピンセットの袋詰め作業は、トレイの上に同じ方向にピンセットを置いていくことに慣れるように繰り返す行為から始めて、徐々に段階を踏んで、完成を目指すもので、こうした作業の積み重ねによって、今では何気なくスムーズに処理されている作業も、利用者の方にとっては、大変な取組努力があって漸くこの状態まで辿り着くことができるようになったと職員の方からお聴きし、どんなことも決して、出来ないと諦めるのではなく、職員が個々の利用者の出来ることを見極め、僅かなことへのたゆまぬ挑戦により成功や実現に結びつくということの大切さを、しみじみと学習することができました。

また、昼食時には、配膳や盛り付け、後片づけ、そして食器洗いなど、それぞれのパート毎に担当が決められており、全て利用者の方が何等かの役割を担い、職員の方は安全確認やスムーズな処理等に向けて見守りがされていました。そうした状況を観て、今まで、職員も利用者の方と一緒にこうした準備から後片づけまでの一連の行為を行うことが当然と思い込んでいたことから、つい手伝わなければとしている自分がいることを気づかされました。しかし、見方を変えれば出来ることを職員が一緒に行うということは、利用者から出来ることを奪っていることにもなりかねないという、職員の方の説明をいただき、なるほどと実感しました。併せて、利用者一人ひとりの行為や動きなどを待つことや見守りをすることは、強い忍耐力、はっきりとした判断力が必要であることも、今回の体験を通して認知することが出来ました。

最後に、今回のボランティア活動を通じ、自閉症を持つ障がい利用者の方々に関わることの意義や、利用者一人ひとりの状態等に応じた支援によって、一人ひとりの出来ること（可能性ややり甲斐）が増え、日常生活の改善や充実が図られ、心身の安定に寄与するであろうことや、障がい者理念に基づく支援の重要性と必要性、また実効性など本当の意味を教えていただいたように思います。

末筆になりましたが、貴施設のますますのご隆盛とご発展をお祈り申し上げますとともに、松原施設長さまをはじめ、職員の方々の、丁寧なご説明やご指導に深く感謝いたしつつ、皆様のご清祥とご多幸をご祈念いたします。利用者の方々にもよろしくお伝えいただければ幸いです。

以上お礼とつたない体験感想にかえさせていただきます。
本当にありがとうございました。

ボランティア体験者 秋草学園福祉教育専門学校
介護福祉科１年 岡田 一早

ポム・ド・パンのHPを見て、飛び込みTELでのボランティア志願していただいた岡田さんありがとうございました。

ウインドヒル・風見の家日中行事・日中活動のいろいろ

保護者と地域交流棟運動会

ボウリング行事

外食行事

スイカ割り

「安全運転事業所」の表彰を受けました

～【自閉症】への正しい理解をお願いしました。～

地域の交通安全の啓発活動において当事業所が積極的に参加してきたことが評価され、「優良事業所」として表彰されました。楯と表彰状をいただきました。

そして、この機会をお借りしまして、参加企業の皆様に【自閉症について】の正しい理解と関わりについてお伝えしました。自閉症の障害は、決して自分の殻に閉じこもっている人達ではありません。脳の発達の仕方の違いから、会話が苦手であったり、他の人の気持ちや感情を理解することが困難です。等を説明いたしました。皆様の理解と応援をよろしくお願い致しますと呼びかけました。

副管理者　鈴木　克幸

捨ててしまえばただのゴミ。集めることで誰にでもできる身近な国際協力活動に。
皆さまの周りの職場・学校・ご家庭・グループなどで呼びかけ、ご協力いただけると幸いです。

1 『タンザニア・ポレポレクラブ（http://polepoleclub.jp/）』へ送付

◆東アフリカのタンザニアで村人とともに植林活動に取り組んでいる市民グループ◆

2 コレクターに買ってもらい、資金化

3 世界遺産に登録されているキリマンジャロ山での植林活動資金に。

（使用済み切手　40g=1本の木）

ウインドヒルの使用済み切手回収にご協力ください!!

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました！！
当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。
スマートホンでは右のＱＲコードから読み取れます。
アドレス：http://www.pomme-de-pin.or.jp/

社会福祉法人ポム・ド・パン

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

（敬称略・順不同）

◆個人会員　平成26年４月26日～平成26年８月31日

三谷志津夫	三谷　文	三谷　ふき	三谷　周子	福本　一裕	石田　恵美	白井　麻美	共同ガス
羽間由紀子	田中トシ子	田中久美子	田中　茂行	田中　真弓	石本　寛文	猪塚　和子	梶原由紀子
小川　直美	細川　文子	西丸　喬善	石井　博文	兵頭　政菊	大垣　博信	三好美千代	植原　静夫
杉原由美子	池内　恭子	山縣　尚昭	築山　浩二	後藤　博幸	後藤加代子	高木　俊幸	三好　雄介
中山　節子	大町　幸子	渡辺　恒子	筒井　政志	藤岡　重朝	藤岡ツヤ子	藤岡　正温	沖野　昌志
沖野　晴世	沖野　貴子	沖野　知晴	上田　絹代	小松千賀子	山本　清子	水谷　佳弘	真嶋　方文
真嶋　邦子	荻野　正巳	松本　淳子	猪熊　恵子	田村　昭二	和泉久美子	黒嶋　正子	内園　昭一
竹内　俊介	横田　忠	池下　律子	堀田　国彦	大矢三千代	松木　珠子	西山　史郎	西山　圭子
三谷由岐子	石丸　和孝	原田　和弘	森永　俊樹	森　里子			

◆団体会員　平成26年度　平成26年４月26日～平成26年８月31日

㈱ぐれいと　㈲雄興業　四国旅客鉄道㈱　ＪＦ卓球クラブ　アカマツ㈱高松営業所

平成26年４月26日～平成26年８月31日現在、以上の方々に継続及び新規ご入会頂きました。
９月１日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させて頂きます。
本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようにお願い申し上げます。

年　会　費　個人会員　一口　3,000円　　団体会員　一口　10,000円

ご入金方法　郵便振替　口座番号　01690－3－74305　　口座名称　社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

高松大学より発達科学部実習生を受け入れています

実習生コメント　自閉症のことを学んでください!!

今回は施設実習を受け入れていただきありがとうございました。実習が始まる前はとても緊張し、どのように声をかけたらいいかなど不安な気持ちでしたが、職員の皆さんに丁寧にご指導いただき充実した十日間を過ごすことができました。

短い時間でしたが、施設実習を終えこれからの人生に大きな糧となりました。とても充実していて期間を延長したい気持ちでした。また機会があればボランティアで来られたらと思っています。十日間の貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

喜岡

初めての実習で最初はどうなるか不安でいっぱいでした。しかし、職員の皆さんや利用者の皆さんが優しく接して下さり、不安はなくなりました。私がこの実習で学ばせていただいたことはこれから先、忘れることはないです。

利用者の皆さんと少しの時間ではありましたがとても多くの思い出ができ、私自身とても嬉しいかぎりでした。最後に利用者さん、職員さん、本当にありがとうございました。

青木

大学に入学し、福祉や保育についての学習を通して、人と関わる職種についてとても興味が湧きました。実習期間中に出会った利用者さんや職員さんと関わり、貴重な経験となりました。何も分からない私に優しくご指導いただき、ありがとうございました。

大学に戻り、学内の授業がより一層充実しました。実習を通して得られた経験を活かしてどんどんレベルアップしていきたいです。

武田

今回の実習を通して「自閉症」への理解がより一層深まったように思います。大学の授業で聞いた知識ではなく、実際に利用者さんと関わるうちに、「自閉症」とはいっても利用者さんごとに違った部分があり、全く同じということはないのだと実感しました。

大学では習うことができない一人ひとりの特性に応じた接し方などを身をもって教わることができ、本当に充実した二週間でした。今回の実習で得た学びや経験は、今後の進路選択や学生生活の中で活かすことができるものになると思います。

志水

今回ウインドヒルでの実習を終えて、「自閉症」のことに対する考え方が大きく変わりました。初めの自閉症に対する私のイメージは、心を閉ざしている方だと勝手に思っていました。しかし、実際の意味は違っていて、利用者の方から話しかけてくださることもあり、大きく誤解をしていると思い知らされました。

また、利用者の方は自分のことは自分でしていたため、能力の高い方が多いということが分かりました。普段自閉症の方と関わることはできないので、貴重な体験をこの実習ですることができました。

福家

第1号様式

資金収支計算書

（自）平成25年4月1日（至）平成26年3月31日
（単位：円）

勘定科目			
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	1,021,180
		就労支援事業収入	1,021,180
		就労支援事業収入計 (1)	**1,021,180**
	支出	就労支援事業支出	754,876
		就労支援事業支出	754,876
		就労支援事業支出計 (2)	**754,876**
	就労支援事業活動資金収支差額(3)＝(1)－(2)		**266,304**
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費収入	224,630,653
		介護給付費収入	191,143,979
		訓練等給付費収入	9,713,615
		特定障害者特別給付費収入	7,986,717
		利用者負担金収入	15,786,342
		生産活動事業収入	1,149,491
		生産活動事業収入	1,149,491
		経常経費補助金収入	600,000
		経常経費補助金収入	600,000
		寄附金収入	2,077,162
		寄附金収入	2,077,162
		雑収入	810,608
		雑収入	810,608
		借入金利息補助金収入	488,750
		借入金利息補助金収入	488,750
		受取利息配当金収入	41,458
		受取利息配当金収入	41,458
		経理区分間繰入金収入	400,000
		経理区分間繰入金収入	400,000
		福祉事業収入計 (4)	**230,198,122**
	支出	人件費支出	116,733,882
		職員俸給	41,439,900
		職員諸手当	35,580,156
		非常勤職員給与	27,401,695
		退職金	86,958
		退職共済掛金	759,900
		法定福利費	11,465,273
		事務費支出	16,131,560
		福利厚生費	189,554
		旅費交通費	1,666,560
		研修費	367,340
		消耗品費	1,906,146
		器具什器費	638,923
		印刷製本費	5,145
		水道光熱費	198,536
		燃料費	98,032
		修繕費	3,069,133
		通信運搬費	862,741
		会議費	89,160
		広報費	318,150
		業務委託費	3,027,421
		手数料	204,450
		損害保険料	1,353,240
		賃借料	393,672

勘定科目			
福祉事業活動による収支	支出	租税公課	245,200
		雑費	370,735
		渉外費	140,510
		諸会費	986,912
		事業費支出	23,743,728
		給食費	14,494,469
		保健衛生費	284,242
		教養娯楽費	74,725
		水道光熱費	5,492,624
		燃料費	132,533
		消耗品費	812,757
		器具什器費	926,047
		賃借料	
		指導訓練費	762,330
		雑費	22,400
		生産活動事業費	741,601
		借入金利息支出	688,730
		借入金利息支出	688,730
		経理区分間繰入金支出	400,000
		経理区分間繰入金支出	400,000
		福祉事業支出計 (5)	**157,697,900**
	福祉事業活動資金収支差額(6)＝(4)－(5)		**72,500,222**
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,150,000
		設備整備等補助金収入	1,150,000
		施設整備等寄附金収入	5,064,225
		施設整備等寄附金収入	414,225
		施設整備等借入金償還寄附金収入	4,650,000
		固定資産売却収入	30,000
		車両運搬具売却収入	30,000
		施設整備等収入計 (7)	**6,244,225**
	支出	固定資産取得支出	9,174,340
		建物取得支出	1,596,713
		車両運搬具取得支出	1,386,000
		その他の資産取得支出	6,191,627
		施設整備等支出計 (8)	**9,174,340**
	施設整備等資金収支差額 (9)＝(7)－(8)		**-2,930,115**
財務活動による収支	収入	その他の収入	86,958
		振興財団退職共済付金収入	86,958
		財務収入計 (10)	**86,958**
	支出	借入金元金償還金支出	5,833,000
		設備資金借入金償還金支出	5,833,000
		その他の支出	672,489
		振興財団退職金預け金支出	672,489
		財務支出計 (11)	**6,505,489**
	財務活動資金収支差額 (12)＝(10)－(11)		**-6,418,531**
予備費 (13)			
当期資金収支差額合計(14)＝(3)＋(6)＋(9)＋(12)－(13)			**63,417,880**

前期末支払資金残高 (15)	**137,735,608**
当期末支払資金残高 (14)＋(15)	**201,153,488**

第5号様式

貸借対照表

平成26年3月31日現在
（単位：円）

資産の部 科目	当年度末
流動資産	205,304,960
現金預金	188,226,626
百十四空港口法人	9,390,605
百十四空港口施設	53,836,021
百十四空港口定期	125,000,000
未収金	16,291,241
貯蔵品	787,093
固定資産	508,691,215
基本財産	475,986,167
建物	486,117,429
土地	134,934,300
減価償却累計額	△145,065,562
その他の固定資産	32,705,048
建物	2,706,159
構築物	36,477,586
機械及び装置	2,667,000
車両運搬具	10,146,312
器具及び備品	16,688,181
減価償却累計額	△39,280,180
権利	46,000
その他の固定資産	3,253,990
その他の固定資産	100,000
振興財団退職金預け金	3,153,990
資産の部合計	**713,996,175**

負債の部 科目	当年度末
流動負債	4,151,472
未払金	4,151,472
固定負債	47,318,990
土地取得資金借入金	16,665,000
高松市	16,665,000
設備資金借入金	27,500,000
福祉医療機構	27,500,000
退職給与引当金	3,153,990
振興財団退職給与引当金	3,153,990
負債の部合計	**51,470,462**

純資産の部	
基本金	195,210,000
基本金	195,210,000
国庫補助金等特別積立金	223,170,230
国庫補助金等特別積立金	223,170,230
次期繰越活動収支差額	244,145,483
次期繰越活動収支差額	244,145,483
（うち当期活動収支差額）	65,051,349
純資産の部合計	**662,525,713**
負債及び純資産の部合計	**713,996,175**

第3号様式

事業活動収支計算書

（自）平成25年4月1日（至）平成26年3月31日
（単位：円）

勘定科目			本年度決算
就労支援事業活動収支の部	収入	就労支援事業収入	1,021,180
		就労支援事業収入	1,021,180
		就労支援事業活動収入計 (1)	**1,021,180**
	支出	就労支援事業販売原価	798,507
		当期就労支援製造原価・製品（商品）仕入	798,507
		当期就労支援事業製造原価	798,507
		合計	798,507
		差引	798,507
		就労支援事業活動支出計 (2)	**798,507**
	就労支援事業活動収支差額 (3)＝(1)－(2)		**222,673**
福祉事業活動収支の部	収入	自立支援費収入	224,630,653
		介護給付費収入	191,143,979
		訓練等給付費収入	9,713,615
		特定障害者特別給付費収入	7,986,717
		利用者負担金収入	15,786,342
		生産活動事業収入	1,149,491
		生産活動事業収入	1,149,491
		経常経費補助金収入	600,000
		経常経費補助金収入	600,000
		寄附金収入	2,077,162
		寄附金収入	2,077,162
		雑収入	810,608
		雑収入	810,608
		引当金戻入	86,958
		退職給与引当金戻入	86,958
		国庫補助金等特別積立金取崩額	13,857,340
		国庫補助金等特別積立金取崩額	13,857,340
		福祉事業活動収入計 (4)	**243,212,212**
	支出	人件費支出	116,733,882
		職員俸給	41,439,900
		職員諸手当	35,580,156
		非常勤職員給与	27,401,695
		退職金	86,958
		退職共済掛金	759,900
		法定福利費	11,465,273
		事務費支出	16,131,560
		福利厚生費	189,554
		旅費交通費	1,666,560
		研修費	367,340
		消耗品費	1,906,146
		器具什器費	638,923
		印刷製本費	5,145
		水道光熱費	198,536
		燃料費	98,032
		修繕費	3,069,133
		通信運搬費	862,741
		会議費	89,160
		広報費	318,150
		業務委託費	3,027,421
		手数料	204,450
		損害保険料	1,353,240
		賃借料	393,672
		租税公課	245,200
		雑費	370,735
		渉外費	140,510

勘定科目			本年度決算
福祉事業活動収支の部	支出	諸会費	986,912
		事業費支出	23,743,728
		給食費	14,494,469
		保健衛生費	284,242
		教養娯楽費	74,725
		水道光熱費	5,492,624
		燃料費	132,533
		消耗品費	812,757
		器具什器費	926,047
		賃借料	
		指導訓練費	762,330
		雑費	22,400
		生産活動事業費	741,601
		減価償却費	21,387,580
		減価償却費	21,387,580
		引当金繰入	672,489
		退職給与引当金繰入	672,489
		福祉事業活動支出計 (5)	**178,669,239**
	福祉事業活動収支差額 (6)＝(4)－(5)		**64,542,973**
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	488,750
		借入金利息補助金収入	488,750
		受取利息配当金収入	41,458
		受取利息配当金収入	41,458
		経理区分間繰入金収入	400,000
		経理区分間繰入金収入	400,000
		事業活動外収入計 (7)	**930,208**
	支出	借入金利息支出	688,730
		借入金利息支出	688,730
		経理区分間繰入金支出	400,000
		経理区分間繰入金支出	400,000
		事業活動外支出計 (8)	**1,088,730**
	事業活動外収支差額 (9)＝(7)－(8)		**-158,522**
経常収支差額 (10)＝(3)＋(6)＋(9)			**64,607,124**
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	1,150,000
		設備整備補助金収入	1,150,000
		施設整備等寄附金収入	5,064,225
		施設整備等寄附金収入	414,225
		施設整備等借入金償還寄附金収入	4,650,000
		固定資産売却益（売却収入）	30,000
		車両運搬具売却益（売却収入）	30,000
		特別収入計 (11)	**6,244,225**
	支出	基本金組入額	4,650,000
		2号基本金組入額	4,650,000
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,150,000
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,150,000
		特別支出計 (12)	**5,800,000**
	特別収支差額 (13)＝(11)－(12)		**444,225**
当期活動収支差額 (14)＝(10)＋(13)			**65,051,349**
繰越活動収支差額の部	**前期繰越活動収支差額 (15)**		**179,094,134**
	当期末繰越活動収支差額 (16)＝(14)＋(15)		**244,145,483**
	基本金取崩額 (17)		
	基本金組入額 (18)		
	その他の積立金取崩額 (19)		
	その他の積立金積立額 (20)		
	次期繰越活動収支差額(21)＝(16)＋(17)－(18)＋(19)－(20)		**244,145,483**

香川県中学校 教育研究会高松支部 特別支援教育部

夏季研修会

高松市内中学校の特別支援学級担任の11名が、8月7日(木)に夏季研修視察で障害者支援施設ウインドヒルを訪問しました。特別支援学級担任に初めてなった人から10年以上の人まで経験は様々ですが、とても勉強になったと感想を寄せてくれました。その一部を紹介したいと思います。

・施設の先生方の一貫した指導があれば少しずつ成長できることが勉強になりました。
・幼いころの支援が子供の将来を変えていく現実があることがわかりました。
・自閉症があっても、教育や適せつな指導があれば、落ち着いて集団生活ができ、仕事にも根気強く取り組めるということを教えていただきました。
・自閉症児を育てられた母親として、また障害者施設ウインドヒル施設長としてのお話はとても説得力がありました。
・6歳までに基本的習慣を獲得させておかないと、同じことを身に付けさせるのに10年かかるという言葉が心に残りました。
・以前(10年前くらい)に訪れたときと利用者の様子が変わっていました。以前は、作業中に大声が出たり、立ち歩きをしたりしている人がけっこういましたが、今回はそのような人もおらず、成長を感じました。
・自閉症の子の指導は、他の子にも通じるオールマイティな指導であるということで、資料にわかりやすくまとめてくれていたので、本校の職員にも配布しようと思っています。
・保護者とともに、子供の将来(まずは10年後)をイメージできるような勉強をしなければと改めて思いました。
・福祉のことについて知らないことばかりで、大変勉強になりました。また、ウインドヒルの方の教育や福祉に対する考え方の部分もお聞きすることができ、貴重な経験になりました。
・「太田ステージ」がすっきり整理されていて参考になりました。

今回の訪問で、学んだことをこれからの生徒たちの指導に生かしていきたいと思います。今回、研修視察をさせていただき本当にありがとうございました。

会員 香川一中 山下 武広

保護者会コーナー

「あじさい園を見学して」

南統括施設長の下、確固とした施設運営、至れり尽くせりの衣食住、すべてにおいて感心しきりでした。

あじさい園の目的「生涯にわたって安心して過ごすことができるグレードの高い生活環境」を目指し、20年かけて作り上げ、そしてまだこの先の事を見通している姿勢。

その裏で施設を支えてこられた職員の方の大変なご苦労も垣間見られた気がします。

障害者を支援すると一言で言っても様々な考えがある事を改めて感じました。

一方、我が子に置換えた時、障害の有無関係なく、出来る事は自分でと教え、必要とされる子にと自立を促してきた私にとっては正直戸惑いがありました。それぞれのニーズの違いでしょうか。

ただお互い考えは違えど、子供たちの幸せを願い、寄り添い、支援する姿勢は同じ。職員の方には常に「感謝の気持ち」これだけは忘れてはいけないと親として教わりました。

ありがとうございました。

田岡 恭子

メリー♀(年齢非公開)
2006年12月にウインドヒルに来ました。

編集後記

ウインドヒルでは10月26日(日)に「第9回 地域とのつどい」を開催いたします。今年も大勢の人たちに来ていただき、楽しんでもらえるように利用者、職員ともにお土産づくりに励んでおります。

皆さまのご参加を楽しみにしておりますので、ぜひお越しください。

モモ♀
2006年1月生まれ

「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかり根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く・たくましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。